暮らしの情報

ルールを守り ごみの資源化・減量を図りましょう

カンやビン、ペットボトル、プラスチック製容器包装類は、きちんと処理し分別すると、リサイクルできる大切な資源です。今回、資源ごみの出し方について、皆さんから問い合わせが多いものを紹介します。

一人ひとりが気をつけることで、ごみの資源化・減量につながります。皆さんのご協力をお願いします。

Q 内側にアルミ箔のついた紙パックの出し方は?

A 内側がアルミコーティングされたものは可燃ごみで、また、注ぎ口がプラスチック製のものについては、その部分を切り取りプラスチック製容器包装の指定袋で出してください。

Q プラスチックでできているバケツを資源ごみで出したら置いていかれました。

A 資源ごみで出せるプラスチックは容器包装類で、モノを使い終わった後にいらなくなった**入れ物や包んである袋**などをいいます。

プラスチックのバケツ・洗面器・角ハンガーなどは容器包装ではありませんので、不燃ごみとなります。

Q ペットボトルのキャップは外さなくても良いの?

A ラベルをはがし、**キャップは取り外し**てから出しましょう。

キャップがついたままですと質の良い再生原料にならないため、ごみ処理場でキャップを一つ一つ手作業で取り外しています。キャップはプラスチック製容器包装の指定袋に入れて出してください。

※ビンのキャップは取り外し、不燃ごみとして出してください。

Q ペットボトルは潰してから出すの?

A **潰してから**出してください。

キャップがついていると潰れませんので、キャップが外れていることの確認になりますし、潰した方が指定袋に多く入り、袋の節約にもなります。また、ごみ収集車も一度に多く量を運べるので、効率がよくなります。

クリーンセンターでは処理できないごみ

搬入されるごみの中に、時折農薬類が見られますが、農薬類は取り扱い方法によっては危険なため、一般のごみとして出されると処理過程で事故の原因となります。農薬類や有毒性の薬品、塗料などを処理する場合は、販売店、専門店に引き取ってもらうか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

ごみに関する問い合わせは、環境課（☎62−5328）またはクリーンセンター（☎62−0955）へ。

着用しましょう シートベルトとチャイルドシート

6月は『シートベルトとチャイルドシート着用推進強化月間』です。

昨年10月に実施された、全国シートベルト着用率調査の結果によると、千葉県の着用率は90・8パーセントで、全国平均の92・4パーセントを下回っている状況です。

また、昨年の四輪乗車中の死者105人中61人（58・1パーセント）がシートベルト等を着用しておらず、死亡事故の大きな要因となっています。

着用しない理由をいろいろ聞きますが、自分や家族の安全のために、もう一度考えてみませんか。

安全はあなた自身の心がけ
ベルト着用をわすれずに

〈問い合わせ先〉
総務課交通班
☎62−5835

お中元に 旭の味覚を贈りませんか

贈った方にも、受け取った方にも好評の旭市農産物直売館の「旭フレッシュ宅配便」。今回も収穫したばかりの新鮮野菜をご用意します。お世話になった方やお友達に旬の味覚を贈ってみませんか。

発送日／6月26日㈪～28日㈬
内容／トウモロコシ、ししとう、葉しょうが など
価格／1ケース2,980円または5,000円（大家族用）※税・送料込
締め切り／6月18日㈰
申し込み先／旭市農産物直売館（☎62−6048）
※年中無休